

## 例会「低山トレッキング(小町山)」報告

開催日：2022年9月7日(水) 集合場所：小町の館駐車場(土浦市小野491)  
集合時間：8時30分～9時 開会式：9時～9時15分 終了後スタート  
コース・距離：朝日峠ハイキングコース、朝日峠展望コース、天ノ川沢コース  
(小町の館→紅葉谷→こもれ日の森→展望公園山頂→女坂→小町山山頂→  
男坂→三角石→しずく石→姫の滝→小町の館) 10km  
ゴール時間：12時30分頃 参加者：20名(会員16名)  
天候：曇り/雨

### ウォーキング状況等

小野小町伝説が残る土浦市新治地区の小町山(361m)は、筑波山系連山の一つ。この3年ほどで住民のボランティア団体「小町里山愛好会」が登山道を次々と広げ、既存の1コースと合わせ計5本のコースを作った。小町山と筑波山の間には無名の山から年間10万人以上が訪れる人気の山となった宝篋山がある。15年ほど前迄は荒れていたがそれを整備したのもこの愛好会のメンバー達。宝篋山には4月の例会で登り、山頂の景色等に感動した記憶が鮮明に残っている。今回は低山トレッキングの小町山、地元のボランティア団体に感謝を込めて山歩きをしよう。

集合場所へのアクセスは自家用車が必須。行けない参加者を最寄りの駅からスタッフによるピックアップで補った。科学に基づいたミニウォーキング教室を伴う独自の開会式を終え、朝日峠ハイキングコースへ向かう。登山口には杖が置いてあり、参加者が借用して登り始める。約30分で紅葉谷入口に着く。丁寧に作られた木道を通り、こもれびの森を経て20分後には朝日峠展望公園の山頂だ(302m)。曇っていたものの、霞ヶ浦、つくば連山の眺めが素晴らしい。休憩後、背の高い樹木に囲まれ森林浴気分心地良く歩ける朝日峠展望コースに入る。ハート石から女坂休憩所までの30分間はきつい登り坂が続く。少し緩くなった女坂を登ると山頂で昼食タイム。

皆さん安堵感と景色の良さに話が弾み食欲も旺盛だ。近くのパラグライダー離陸場はライダーがおらず、閑散としていたのが残念。更に宝篋山方面に進むと鬼越山(372m)に至るが、今回は小町山から男坂を通って下山開始。展望岩、三段岩を眺めながら20分ほどで、天の川沢コースと尾根コースの分岐点だ。沢沿いを下るとしずく石、姫の滝、いこいの滝などこじんまりとした味わいのある名所が続く。案内版、ベンチなどすべてが手作りで愛好会の努力の結晶を目の当たりにする。ほどなく登山口入り口に着き、更に民家の並ぶ里山の道を10分程歩くと小町の館。下りはぬかるみもあり滑りやすく皆さん苦労しましたが、全員無事下山できました。

70代後半の愛好会代表は膝に人工関節を入れとぼとぼ歩いていたのが、山登りに目覚め毎朝この山を登りながら月1回の山道整備を繰り返しているうちに、脚の痛みも忘れ健脚になったようだ。「山歩きほど健康増進にいいものはない、多くの人に山の良さを知ってもらいたい。」と茨城新聞(2021.7.8)で語っている。一方、「大変な作業といわれるが、自分たちも楽しいからここまでできた」と言うメンバーもいる(NEWS つくば 2019.11.4)。できあがった道を組み合わせるウォーキングのコース作りとは大分異なるが、活動の精神と実行力は共通点がある。参加者が楽しくなるようなコースをたくさん提供したいところだが、スタッフ不足の主催者は息切れ状態が続いている。この愛好会の人達の奮闘ぶりを見習おう。(戸田)